

「日本アニメーション映画クラシックス」開設

日本の初期アニメーションに関するフィルムセンターのコレクションをウェブ上で初公開

東京国立近代美術館フィルムセンターは、このたび、文化庁の「文化芸術振興費補助金（美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業）」のひとつである「映画におけるデジタル保存・活用に関する調査研究（BDC プロジェクト）」のもと、映画のデジタル化や保存技術に関わる実践的な調査研究ならびにコレクション公開の新たな方法を試みるための調査研究の一環として、ウェブサイト「[日本アニメーション映画クラシックス](http://animation.filmarchives.jp)」を開設しました。

本サイトは、国立情報学研究所と共同で開発したもので、日本でアニメーション映画が誕生したとされる1917年から100年目に当たる2017年を記念し、2017年末までを目途に試験的に公開するものです。

フィルムセンターの所蔵するアニメーション映画の中から、現存する最も初期のアニメーション映画『なまくら刀』（1917年公開）をはじめ、1941年までに製作・上映された**64作品**を公開しています。

また、2010年に開催した企画展「アニメーションの先駆者 大藤信郎」をもとに再構成した「大藤信郎記念館」のページでは、大藤信郎の手書き台本、造形作品や切り紙キャラクターなど、さまざまな資料、**約140点**をブラウザ上でご覧いただけます。

フィルムセンターの保存する日本の初期アニメーションに関するコレクションがより多くの人々の目に触れ、広く共有されることで、歴史・文化への興味や発見の楽しみ、新たな創造への貢献が促されることを期待しています。



サイト名	日本アニメーション映画クラシックス Japanese Animated Film Classics
URL	http://animation.filmarchives.jp
公開作品	・1917年～1941年に製作・公開された日本のアニメーション映画（64作品） ・大藤信郎の手書き台本、造形作品や切り紙キャラクターなどの製作資料（約140点）
公開期間	2017年2月22日～12月末 ※試験的な公開のため期間限定となります
制作	東京国立近代美術館フィルムセンター(デジタル映画保存・活用調査研究事業班)※ ※平成28年度「文化芸術振興費補助金(美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業)」/「映画におけるデジタル保存・活用に関する調査研究」事業 国立情報学研究所

■ 日本アニメーション映画（64 作品） 閲覧ページ

年代順・作品名順に画像つきのリストとして見ることができ、検索ワードを自由に入力して、お望みの作品を探すこともできます。また、物語・アクション・演出技法・キャラクターといったカテゴリーによる複数の切り口から、公開されている作品を新しく発見することができます。

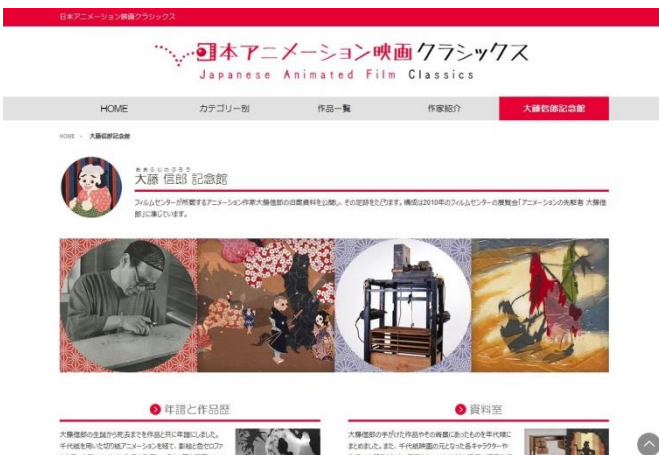


見どころ

現存する最も初期のアニメーション映画『なまくら刀』（幸内純一、1917 年公開）をはじめ、大藤信郎の千代紙映画（『馬具田城の盗賊』、1926 年、他）や政岡憲三のデビュー作『難船ス物語 第壹篇 猿ヶ嶋』（1930 年）など。
* 配信作品は英語字幕での閲覧も可能。

■ 大藤信郎記念館（約 140 点） 閲覧ページ

フィルムセンターが所蔵するアニメーション作家大藤信郎の旧蔵資料を公開し、その足跡をたどります。構成は 2010 年のフィルムセンターの展覧会「アニメーションの先駆者 大藤信郎」に準じています。



見どころ

大藤の時代ごとの技法の移り変わりや、アニメーション作家としての足跡がわかります。また、ウェブサイト開設にあたり、千代紙によって作られたキャラクターの切り抜きや、未完成に終わった『竹取物語』のセル画の一部を動画にしました。台本や書籍などを全ページ閲覧できるなど、より多くの内容をご覧いただけます。

○本件に関するお問い合わせ

東京国立近代美術館フィルムセンター 広報担当

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6 電話：03-3561-0823 / FX：03-3561-0830 / E-mail：nfc-pr@momat.go.jp



平成 28 年度
美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業